

公表: 令和6年4月25日

事業所名: スペシャルニーズ・ファースト ドリーム

保護者等数(児童数) 10

回収数 6

割合

60%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6					
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	6					より、専門性を求めています。
	③ 生活空間は、本入にイカツヤやすぐ構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1				
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6					
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5			1		より、専門性を求めています。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			1		より、具体的に設定していきます。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5			1		面談等を通してよりわかりやすくお伝えしていきます。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	1				
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	4			今後、交流会などを検討していきたい。
	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5			1		より、具体的に説明していきます。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5			1		面談等を通してよりわかりやすくお伝えしていきます。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5			1		保護者会（勉強会・座談会等）を実施していきたい。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通 理解ができているか	4	1		1	連絡ノートの内容をより充 実し ていきます。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児 に関する助言等の支援が行われているか	5			1	年2回の面談を継続しつ つ、 勉強会などを開催してい きます。	
非 常 時 等 の 対 応	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援さ れているか		5		1	今後、保護者会などを検討 していきます。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れにつ いて、 対応の体制が整備されているとともに、子 どもや保護者に周知・説明され、相談や申	4	1		1	面談時に改めて周知致し ます。	
満 足 度	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のための配慮がなされているか	6					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動 概要や行事予定、連絡体制等の情報や 業務に関する自己評価の結果を子どもや 保護者に対して発信されているか		6			月に1回の通信を作成して います。また、HPを開設しよ り情報を発信していきます。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6					
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアル等を策定し、保護者に 周知・説明されているか。また、発生を想 定した訓練が実施されているか		4	1	1	個人面談時に改めて周知 致します。 また、いつでも閲覧できる環 境を整えていきます。	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出、その他必要な訓練が行われているか		4	1	1	個人面談時に改めて周知 致します。 また、いつでも閲覧できる環 境を整えていきます。	
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	6					今後も楽しく通所できるよ うにします。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	6					今後も質の高い療育を目指 します。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援事業
評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。